

第2部 成熟するアジアと世界へむかうヨーロッパ

第3章 大西洋世界の変容とその波及

3節 ヨーロッパの動乱の波及

④ 広がる植民地と世界 (教科書 p.98~99)

■ポイント

世界各地の植民地は、どのような変遷をたどったのだろうか。

ケープ植民地 [p.98]

[] 植民地時代

[] 人中心のヨーロッパ系移民が定住

→先住民コイサンを支配, 奴隷を移入

[] の占領 (1806~)

→ [] 海洋帝国の拠点

[], [] などからの移民による移住植民地

南アフリカでの植民地の拡大 [p.98]

[]

背景…イギリスの支配をきらう旧来の植民者の新天地への移動, 拡大

移動…植民地の境界をこえて北上

影響…コイサンや [] 語系のアフリカ社会を破壊

→各地で反抗や戦争

→先住民は土地を失い, 強制労働へ

のちの [] (人種隔離政策) 体制の基礎

オーストラリアとカナダ [p.99]

オーストラリア…18世紀後半, クックの探検

→ [] 領

→流刑植民地として [] 建設

カナダ

[] …17世紀から [] 系移民による植民

西部…合衆国独立時にイギリス国王を支持するイギリス系移民が植民

影響…オーストラリア先住民 [], カナダ先住民インディアン,

[] 社会を破壊

イギリスの [] 領有 (1840)

→以後, 南太平洋諸島の植民地分割が進む

アジア・太平洋の世界化 [p.99]

イギリスの [] …市場を求める産業の力

→世界進出=アジア・太平洋の植民地化

→移民労働者として人々の移動を刺激